

高血圧治療

川口内科医院

院長 川口 光彦

プレミメントを使う タイミング？

降圧剤の使用経験

～2008.5月

川口内科医院でのプレミメント使用例数

30例 (昨年36例)

男性14例 (70.1歳)

女性16例 (79.5歳)

この1年間で中止した症例14例 (32%)

単独で使用している症例はなし

多剤 2剤 基剤 ノルバスク(5)
アムロジン(2.5)
アダラートCR(20,40)
メインテート(2.5, 5)

3剤
アーチスト(10)
テノーミン(50)
カルデナリン(1,2)

中止例(昨年のスライド)

1.難治性高血圧症例

アダラートCR(60mg)+テノーミン(50mg)→無効

2.低血圧になった症例

プレミメント+カルデナリン(2)

→アムロジン(2.5)+カルデナリン(2)

その他

1.むくみのある高血圧症例 利尿剤をすでに使用+
プレミメントの併用?

2.頻脈を伴った症例はプレミメントの使用?

3.思ったより糖尿病の悪化はない

4.頻尿は2例にあったが継続可能であった

5.効果不良例はアダラートCR(40)、オルメテック(20)
に変更して改善した

中止例の詳細

- **糖尿病の悪化** 4/14 HbA1c 1~2の上昇
- **血圧が低下しすぎて気分不良** 5/14
- **血圧のコントロール不良** 1/14
アダラートCR(20)2錠+テノーミン(25)2錠+プレミメント1錠
→アダラートCR60mg+テノーミン(25)2錠+五苓酸
- **皮疹** 1/14 ニューロタン(50)2錠に戻してOK
- **頭痛、気分不良** 1/14 他の薬剤で改善
- **体調不良** 1/14 アダラートCR(40)+ β blockerで改善
- 1例 詳細不明

有効であった症例

症例

41歳 男性 教員

身長 174.9cm 体重 95.1kg BMI 31.1

病歴: 従来から高血圧にて3剤併用療法(ノルバスク 5mg、
ブロプレス4mg、カルデナリン 2mg)で130-150/90台の
血圧コントロールであった。プレミメント登場にてノルバスク
5mg プレミメント1錠の2剤併用療法に変更した。

130-140台に低下したが、拡張期

血圧が100台に上昇したため、カルデナリン 2mgを再開
した。

経過: 現在120-130台/70-80台までに低下し、コントロール良好
である。

本日のまとめ

- この1年でプレミネントの使用量はほぼ横ばいであった。
- 昨年より糖尿病の悪化が多く見られ、他剤に変更する症例が増加した。
- 血圧が下がりすぎる症例が多くみられ、プレミネント使用時は、家庭内血圧測定の強化、24時間血圧測定の導入を行い、きめ細かい血圧経過をみるべきである。
- プレミネントを服用している患者から、脳血管障害、心筋梗塞、腎不全などの重篤な併発症は幸いなことにまだ発症していない。

川口内科医院のホームページ

URL: <http://www.kawaguchi-hp.or.jp>

